

# モダンな風が吹く「みなと神戸」

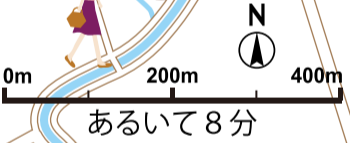
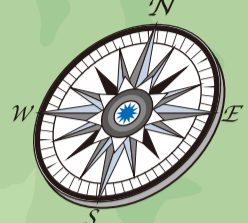
神戸が日本史に大きく登場したのは平清盛(1118-1181)の時代。彼は大陸(宋)との貿易を通じて富を増やし国家の経営をしたいと考えたらしく、当時、大輪田泊(おおわたのとまり)と呼ばれた神戸港を大規模に造り直した。

1. 質のいい真水を確保できる。2. 貨客を満載した時、十分な噴水を確保できる大輪田泊は良港の条件を満たしていた。清盛は当然のようにそれを知っていたのだらう。遂には「福原京」を近くに造り、国家の繁栄を夢みたりしている。およそ500年後、清盛とおなじように、信長と秀吉は「大坂」をベースにした交易海洋国家を目指している。やや短絡するが、そのことは清盛の夢にも一理があったとも思われ、大輪田泊ともども語り継がれていくことだろう。



ある・あるけるMap&News

## 神戸



六甲山に登るいくつかのロープウェイの1つ。緑の樹林と夜景が楽しめる

館を彩るようにジャズメン達の像が立つ

北野・異人館  
北野界隈のメインストリート。二人で歩いて楽しみたい

生田神社  
若い女神が祭神でミナト神戸の再興の神として信仰されている

元町  
横浜の中華街と並ぶリトルチャイナ。中華料理店と中華土産店が軒を連ねている

本願寺神戸別院(モダン寺)  
横浜とは違うアジアな感じのする若者街

神戸ポートタワー神戸海洋博物館  
四国や九州、淡路島などへ行く客船の乗船口。港内遊覧船も出ている

メリケンパーク  
アメリカ人がなまってメリケン

神戸居留地  
ロンドンの町並みを思わせるファッション街。神戸らしいお洒落な街で晴れのデートにいい

フロインドリーブ本店(カフェ・洋菓子)  
その名のとおり異人館が多い。100年は経っているだろうか

風見鶏の館につづく坂道でケヤキ並木にレストランが並ぶ

神戸税関  
新港貿易会館